

平成22年度第13回庁議 会議録

[日 時] 平成23年3月15日(火) 午前9時～午前9時15分

[場 所] 本庁応接会議室

[出席者] 市長、副市長、教育長及び各部局長

[会次第]

1 市長あいさつ

2 議 題

(1) 平成23年度10か年実施計画の内示について (企画部)

3 連絡事項

1 市長あいさつ

今週で議会が閉会しますが、議会、予算特別委員会の対応方ご苦労様でした。

金曜日からの東北地方の地震、津波の被害に遭われた方に対しまして、心からお見舞い申し上げます。

本日は、10か年実施計画の内示をいたしますが、今回の災害対応のために財政の見直しや防災対策への取組み等を考えていかないといけないと思っております。

2 議 事

(1) 平成23年度10か年実施計画の内示について (企画部)

市長 議事に入る。「平成23年度10か年実施計画の内示について」企画部から説明をお願いします。

<企画部長>

お手元に、部局別に「平成23年度10か年事業計画部局配分額内示一覧表」と事業実施のうえで留意していただきたい事項を示した「留意事項」についてお配りしている。

第五次長期総合計画掲載事業については、すでに昨年8月に内示しているが、その後の変更協議分及び平成23年度当初予算内示を反映させ、平成23年度分に加え、平成24年度以降について、事業費・財源を精査したものである。それぞれの内容については後でお目通しいただき、部局内で周知していただくようよろしく願います。なお、本日庁議終了後、査定内容について、行政評価システム上で10か年分開示する。

平成23年度から32年度までの10か年の事業計画の全体像について、配布している資料に沿

って説明する。

まず、資料「平成23年度10か年事業計画部局枠配分額内示集計結果（H23.3.15）」については、部局別・年度別の集計結果である。上段が事業費、下段オレンジ色の部分が一財で、10年間の合計額は右端である。全体では704億2,025万4千円となっている。

次に、集計結果（比較表）については、要望額及び平成22年5月内示額と比較したものである。全体では、一財の要望額718億9,864万1千円に対し、704億2,025万4千円の査定で、14億7,838万7千円の減額としている。また、昨年5月内示との比較では、各部局からの要望額は101億1,484万4千円の増額要望となっていたが、査定の結果、14億7,838万7千円の減額で、86億3,645万7千円の増額にまで圧縮したということである。

次に、この10か年の事業計画の査定結果を反映させた資料が「平成23年度 財政計画（平成23年度～平成32年度）」である。10か年の歳入一般財源総額は水色の網掛け①の右端にあるように2,913億2,244万7千円である。一方、10年間で必要な一般財源総額については、10か年の事業計画に、経常経費、単独枠配分事業費及び平成24年度以降の補助金の事業費を加えたもので、2,935億4,470万円となり、10年間では差引き22億円余りの歳出超過となっている。

第五次長期総合計画の前期5か年、平成27年度までは収支は整っているが、歳入面では、地方財政計画において基準財政需要額の充実が図られている平成23年度の地方交付税見込みを、そのまま24年度以降も据え置いた計画としており、また、財政調整基金及び減債基金の全額を取り崩すことを前提としていること、さらに今回の事業計画には、アセットマネジメントに係る経費などは入っていないことなどから、歳出については、さらに圧縮を図っていく必要がある。今後、一括交付金や地方財政対策の状況等によっては、部局枠配分額の大幅な縮減が必要となる可能性もあり、平成24年度当初予算編成に向けて、事業そのものの取捨選択が必要になる場合もあると考えている。

市長 10か年実施計画を内示したが、今回の地震、津波による被害対応のため、国の交付税等の見直しがあり、事業の取捨選択も含め、再検討する必要があると思うが、よろしく願います。

何かあるか。なければ、これをもって、平成23年度から平成32年度までの10年間の今日現在の内示とする。

3 連絡事項

市長 連絡事項に移る。何かあるか。

防災安全課長 昨日の夜、宇和島市が仙台市へ支援物資を姉妹提携の関係で送ることについて、詳細が確定したので報告する。

本日正午、宇和島市から10トントラックが出発する。新居浜市へは、今のところ14時30分に到着する予定で、途中の細かい経過については、私とトラックの運転手と携帯電話のやりとりで調整していく。

物品であるが、毛布を200枚、段ボール製の組み立て式簡易トイレを50個、これに併せてトイレ用の処理セット20回分1箱を200箱、飲料水については、2リットル入りのペットボトル504本、箱にすると84箱となる。昨日、急遽、仙台市より特に要望があり、乾燥米飯、いわゆるアルファ米を500食追加した。以上の物品を本日、午後2時30分、備蓄倉庫から宇和島市が派遣するトラックに直接積みこませていただく段取りとなっている。

市民の方への情報提供については、防災安全課のホームページへ逐次、追加している。市民の方からの問い合わせが続いているが、全職員向けのポータルサイトに対応マニュアルを載せているので、特に、市民部や福祉部で問合せがあれば、これに基づいてお答えしていただければと思っているので、確認していただきたい。

市長

ニュースにも飲料水が足りないということが出ているので、我々も何とか届けたいという気持ちがある。公の機関とか企業や団体がまとまった量を直接送るという方法以外には、被災地の受入れ体制が整っていないことから、個人の物資の受付はしていない。これは県内自治体全て統一をしているので、そのあたりもホームページやポータルで説明をしておくようお願いする。また、職員のボランティアの派遣については、人事課から意向確認を行うようお願いする。

他に何かあるか。

企画部長

マスコミ各社からの要望であるが、マスコミ報道対応ということで、今回の新居浜市の支援についての情報提供については、その都度、なるべく早目をお願いしたいということなので、対応を願います。

市長

市民に対するケーブルテレビ等を通じた広報は有効であると思うのでよろしく願います。

これで、第13回庁議を終了する。